

平成28年度

日本育療学会

小規模研修会 in 関東

病気や障害のある子どもを守る 福祉の仕組み

2017年

2月19日 日 13:00-16:00

東洋大学白山キャンパス2号館16階 白山スカイホール
東京都文京区白山5-28-20

第一部

13:00～14:15

「障害者差別解消法」の理解と支援 —あらためて合理的配慮について

講師： 中塚 博勝 氏

(千葉県中核地域生活支援センター香取ネットワーク所長)

第二部

14:30～16:00

「病気や障害のある子どものための福祉」

講師： 福島 慎吾 氏

(認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク常務理事)

お申込み
お問い合わせ

- ・どなたでも、無料でご参加いただけます（当日参加可）。
- ・終了後、会場近辺にて会費4,000円程度で懇親会を行う予定です。
- ・資料準備等の都合から、なるべく事前に下のアドレスへご連絡ください。
お申込みメールは、タイトルを「参加申し込み」とし、お名前・
ご所属・懇親会の出欠を明記してください。
お問い合わせはタイトルを「問い合わせ」としてご連絡ください。
Ikuryo20170219@gmail.com（全文字半角）

[主催] 日本育療学会 <http://nihonikuryo.jp>

○企画趣旨

平成28年4月の障害者差別解消法の施行を受け、学校教育現場においても病気や障害のある子どもたちへどのような配慮を行えばよいのかが一つの課題となっています。合理的配慮に関する一定の理解は広まりつつあるものの、基礎的環境整備というハード面への対応に関心が集まりがちであり、「子どもたち」という生きた存在が置き去りにされている印象がぬぐえないというのが現状です。

そこで、本小規模研修会では、第一部として、まず障害者差別解消法の基本理念について福祉現場のご経験の長い中塚博勝氏よりご講演を頂きます。障害者差別解消法についての理解を深め、その上に立ってあらためて合理的配慮についての実際と実践について、皆様とともに学びたいと思います。さらに第二部として、病気や障害のある子どもたちを守る福祉の仕組みについて福島慎吾氏よりご講演頂きます。

病気や障害のある子どもたちが社会で生活する上で活用可能な法的枠組みや福祉的支援にはどのようなものがあるのか、病気や障害のある子どもたちの教育を担う存在として知っておくべきことは何か、そして何をどのように社会へ巣立つ子どもたちへ伝えるべきなのかを考える機会となれば幸いです。